

最近ニュースなどでよく聞く用語を簡単に解説

RPA:ロボティック・プロセス・オートメーションについて

最近ニュースなどで「AI・RPAを導入して業務量を**%削減」というニュースをよく見るようになりました。大手企業を中心に働き方改革や労働人口減に備えての業務効率改善のためにRPAなどのツールの導入が進んでおります。今後普及が進みクラウドサービスのように使うのが当たり前になるかもしれません。今回はRPAについて簡単にご説明したいと思います。

■RPA:ロボティック・プロセス・オートメーションとは

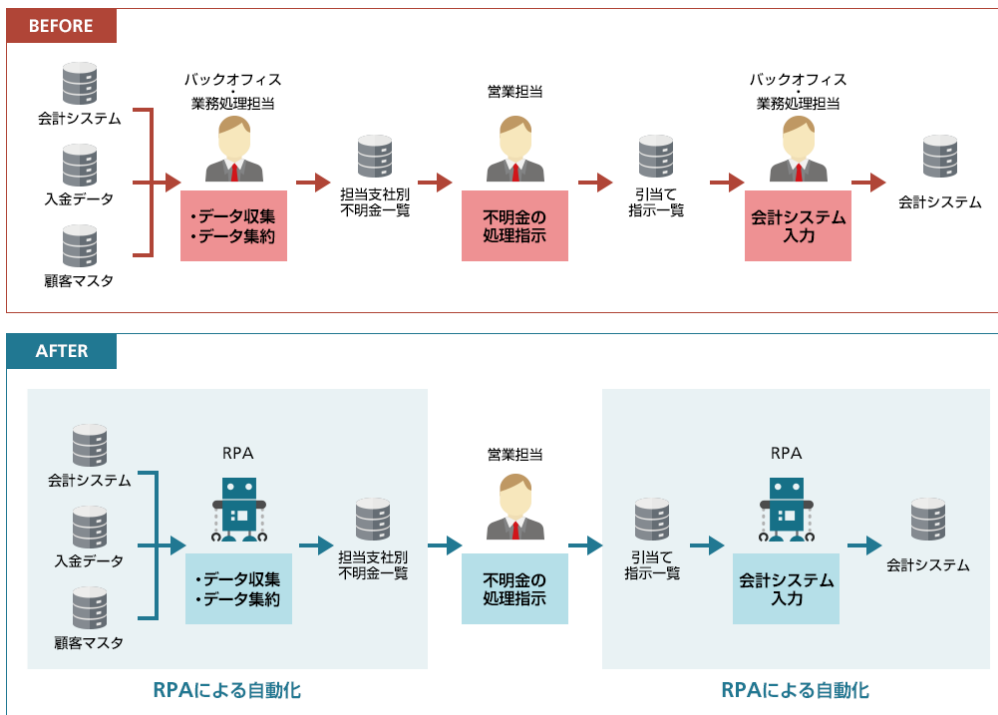
人間が行うパソコンの作業・業務を、ソフトウェアで自動化する技術です。

データ入力や照合、集計、転記作業など、例外処理の少ないマニュアル化できる作業、いわゆる「定型業務」を、RPAを用いて業務効率を高めることができます。マニュアル化できる定型業務をRPAで自動化することで「業務品質向上」「業務スピード向上」「業務効率化」などの効果が出るので今注目されています。

ちなみにAI(人工知能)と一緒に紹介されるケースが多いですが、RPAとAIは本質的には異なるといわれています。

RPA:人間が行うPC上の操作をルールにもとづいて自動化する技術
AI:大規模なデータを感じ知し・理解し・行動し、学ぶことができるもの

■RPA導入前後の売掛金入金チェック業務例



リコーの定型業務自動化 支援サービス(RPA)
<https://www.ricoh.co.jp/solution/rpa/>

◆RPA導入の例
今まで人手で入力していたデータ収集などの定型業務をRPAを導入することで自動化。業務量を削減することができます。

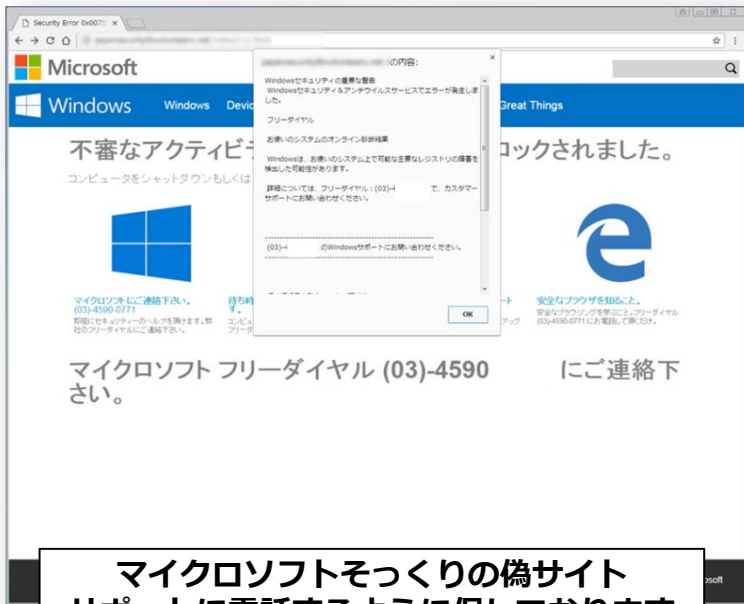
弊社のパートナー企業ではRPAの導入支援サービスを行っておりますので、ご興味がある方はお気軽に弊社までお問い合わせください。



最近お問い合わせが増えております サポート詐欺に注意してください!!

ここ最近「ウェブサイトを読んでいたらマイクロソフトの警告が出たのですがどうしたらいいですか?」というお問い合わせが増えております。ブラウザの画面に突然「ウイルス感染しました」や「システムトラブルが発生しました」等の警告画面が出て、マイクロソフトなどの偽サイトに掲載してある電話番号に電話をしてきた人に有償サポート契約を結ばせたり、遠隔操作ソフトをインストールさせる「サポート詐欺」と呼ばれているものです。ウェブサイトを読んでいる際に**広告バナーの不用意なクリック**や、**ウェブサイトの自動転送(リダイレクト)**などで下記のような偽サイトに飛ばされる例が多いです。

■偽サイトの例



マイクロソフトそっくりの偽サイト
サポートに電話するように促しております



警告画面の例
「ウイルスが見つかった」など
不安を煽ります



スマホでもサポート詐欺は
あるので注意してください

◆もしこのような警告が出た場合は

- ・慌てずにブラウザを終了する
- ・「Ctrl」「Alt」「Del」の3つのキーを同時に押して「タスクマネージャー」を起動、ブラウザソフトを選択し、「タスクを終了」
- ・表示してある電話番号には連絡をしない
- ・念のためセキュリティソフトでチェックする

◆対策としては

- ・不用意に広告やリンクをクリックをしない
- ・危険なサイトにアクセスするのをブロックする機能があるソフトウェアやゲートウェイセキュリティを導入する

情報セキュリティに関することならお気軽にご相談ください。

